

声のかたちをつくろう

林葵衣



口紅や紙粘土を使って、声のかたちを残してみましよう
あなたの好きな言葉や残したい言葉をお考えのうえ
チャレンジしてください

準備物

口紅、紙粘土、コピー用紙、キャンバス、色画用紙など
口に当てて楽しそうな素材、鏡、鉛筆、ウェットティッシュ、
ティッシュペーパー（各参加人数分）
※口紅を塗った唇を紙や紙粘土に押し当てるため、
アレルギーをお持ちの方や肌の弱い方ご注意ください。

対象年齢

全年齢（5歳以下のおさんは親御さんと一緒に行ってください）

人数

1人でもできますが、2人以上で行うと最後に出来上がったものを見せ合うことができ楽しいです。

場所

工程2.～を行う際は大きい作業テーブルがある場所がおすすめです

1. つくる言葉を決める

どんな言葉でも大丈夫です。

自分の気になる言葉や、好きな言葉だとより思いが込められるかもしれません。
もしも、つくりたい言葉が見つからない場合は、街、学校、仕事場、家の中など、
場所はどこでもかまいません。

今いる場所でも OK です。

立ち止まって、注意深く耳を澄ましてみてください。

どんな音が聞こえてきましたか？

聞こえてきた音を声に出してみてください。

その言葉でつくってみましょう。

2. 素材をえらぶ

言葉の準備ができたら、声の形を写すための素材を選びましょう。

色画用紙のほか、キャンバスや紙粘土もおすすめです。

使ってみたいと思った素材にはどんどんチャレンジしてください。

3. かたちをつくる

自分のくちびるに丁寧に口紅を塗りましょう。

うまく塗れるか心配な人は鏡を見ながら行ってください。

準備ができたらいざ、自分が選んだ素材に唇を押し当てて、言葉を喋ってください。

どんなかたちができましたか？

幾つでも、つくってみてください。

4. ながめる

ひと通り言葉のかたちをつくることができたなら、形や、動き、
感触を思い出しながら眺めてみてください。

もしどんな声のかたちにしたか忘れてしまいそうだったら、
鉛筆でこっそり書き留めておいてください。

一緒に制作した人がいるなら、他の人の作った物も、

見せてもらって意見交換をしてください。

写真立てなどに入れて飾ってもいいですし、

手紙や便箋のかわりにしてもいいですね。

5. さいごに

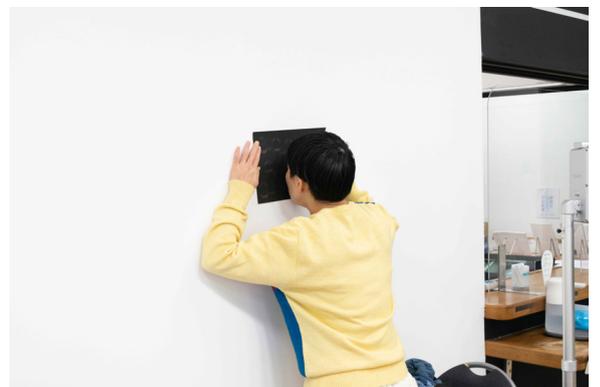
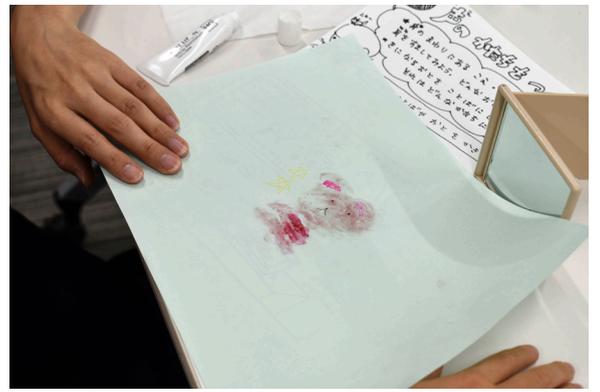
声や音を記録するには録音という方法が一般的ですが、

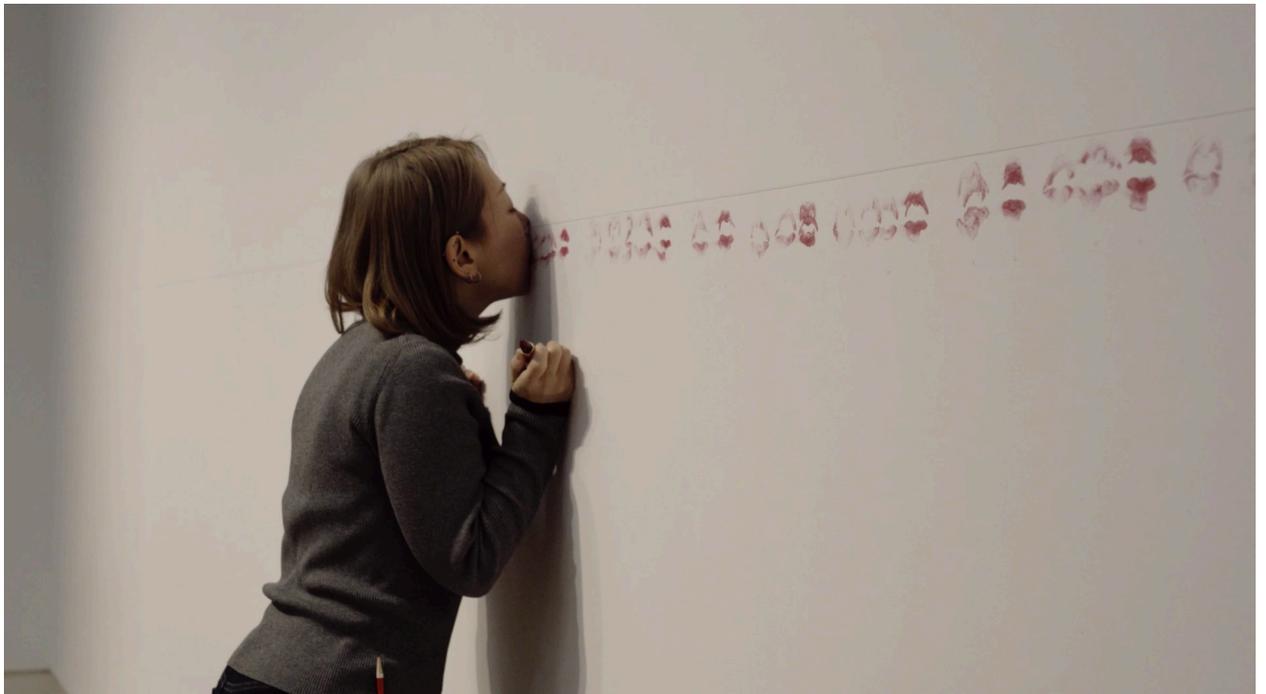
本当はもっとさまざまな方法で残しておくことができます。

今回の方法は、あくまで一例なので、

もっとたくさんの楽しい残し方があるはずです。

このワークショップが、あなた自身にフィットする表現方法を見つけるための
手掛かりとなれたなら幸いです。





《PHONATION -PALINDROME-》制作風景 01_サイズ可変_口紅_2021 (撮影 | 守屋友樹)